

9 慣用句

プリンター

国語のワーク5・6年生

次のそれぞれの慣用句について、下の意味に合うように「」にあてはまる言葉の後
の から選んで書きましよう。

慣用句

意味

- ① 頭が「**上がらない**」 引け目を感じて対等な関係に立てない。
- ② 頭が「**固い**」 考え方が柔軟じゅうなんでない。
- ③ 頭を「**ひねる**」 いろいろと思いをめぐらす。工夫くふうする。
- ④ 頭を「**冷やす**」 興奮こうげんした気持ちをおさえる。気持ちを冷静にする。
- ⑤ 頭を「**丸める**」 髪かみをそる。また、髪かみをそって僧そうとなる。

固い 上がらない 丸める 冷やす ひねる

慣用句

意味

- ⑥ 目に「**つく**」 よく見える。目立つ。
- ⑦ 目を「**かける**」 ひいきにする。
- ⑧ 目を「**配る**」 注意してあちこちを見る。
- ⑨ 目を「**こらす**」 じつと見つめる。
- ⑩ 目を「**うたがう**」 実際に見ても信じられないほど不思議に思う。

こらす つく 配る うたがう かける

9 慣用句

プリント2

国語のワーク5・6年生

次のそれぞれの慣用句について、下の意味に合うように「」にあてはまる言葉を後の□から選んで書きましよう。

慣用句

意味

- ① 鼻が「**きく**」
「」 びんかん 敏感で物を見つけ出すことなどに巧みである。
- ② 鼻で「**あしらう**」
「」 相手の言葉にとりあおうとせず、冷たい態度をとる。
- ③ 鼻に「**つく**」
「」 他人の行いなどがうっとうしく感じられる。
- ④ 鼻を「**明かす**」
「」 出しぬいてあつと言わせる。
- ⑤ 鼻で「**笑う**」
「」 相手を見下してあざけり笑う。

明かす つく 笑う あしらう きく

慣用句

意味

- ⑥ 耳に「**入る**」
「」 情報などを知る。
- ⑦ 耳を「**そろえる**」
「」 お金を不足なく用意する。
- ⑧ 耳を「**すます**」
「」 聞こうとして注意を集中する。
- ⑨ 耳が「**早い**」
「」 物音や世間のうわさなどを聞きつけるのが早い。
- ⑩ 耳に「**つく**」
「」 音や声などが気になり、忘れられなくなる。

つく 入る すます そろえる 早い

9 慣用句

プリント3

国語のワーク5・6年生

次のそれぞれの慣用句について、下の意味に合うように「」にあてはまる言葉を後の□から選んで書きましょう。

慣用句

意味

- ① 口が「**すべる**」
「」 言うてはならないことをうっかり言ってしまふ。
- ② 口に「**合う**」
「」 飲食物の味が好みに合う。
- ③ 口を「**割る**」
「」 白状する。
- ④ 口が「**重い**」
「」 口数が少ない。
- ⑤ 口を「**はさむ**」
「」 他人の話している途中に割りこんで話す。

はさむ 割る 合う すべる 重い

慣用句

意味

- ⑥ 手が「**空く**」
「」 仕事が一段落するなどしてひまができる。
- ⑦ 手が「**かかる**」
「」 手数てかずを必要とする。世話がやける。
- ⑧ 手が「**出ない**」
「」 自分の能力ではとりかかることができない。
- ⑨ 手を「**打つ**」
「」 話をまとめる。また、仲直りをする。
- ⑩ 手を「**こまねく**」
「」 何もしないでただ見ているだけである。

空く 打つ 出ない こまねく かかる

9 慣用句

プリント4

国語のワーク5・6年生

次のそれぞれの慣用句について、下の意味に合うように「」にあてはまる言葉を後の□から選んで書きましょう。

慣用句

意味

- ① 腹に「**おさめる**」
他人に言わず心の中にしまっておく。
- ② 腹を「**かかえる**」
たまらず大笑いする。
- ③ 腹を「**決める**」
決心する。覚悟かくごをする。
- ④ 腹が「**すわる**」
物事に動揺どうごうしなくなる。
- ⑤ 腹を「**さぐる**」
それとなく相手の考えをさぐり出そうとする。

すわる

さぐる

かかえる

決める

おさめる

慣用句

意味

- ⑥ 足が「**出る**」
予算または収入よりも出費が多くなる。
- ⑦ 足が「**すくむ**」
恐怖おそや緊張きんちようのために足がこわばり自由に動かなくなる。
- ⑧ 足が「**早い**」
食物などが腐りくやすい。
- ⑨ 足を「**洗う**」
悪い仲間からはなれる。好ましくない生活をやめる。
- ⑩ 足を「**のばす**」
さらに遠くまで行く。

すくむ

早い

洗う

出る

のばす

9 慣用句

プリント5

国語のワーク5・6年生

次のそれぞれの慣用句について、下の意味に合うように「」にあてはまる言葉を後の□から選んで書きましょう。

慣用句	意味
① 「目」が肥える	よしあしを見分ける力が増す。
② 「頭」が痛い	解決のおずかしい問題などで、心配したり悩んだりするさま。
③ 「顔」がつぶれる	世間に対して面目を失う。
④ 「歯」に衣を着せぬ	思ったとおりをすげすけと言う。
⑤ 「手」を加える	直したり補ったりする。

頭 顔 歯 目 手

慣用句	意味
⑥ 「腕」をみかく	技能が上達するように訓練する。
⑦ 「足」が付く	犯人の身元や逃亡者の行方がわかる。
⑧ 「手」を引く	続いていた関係を断ち切るなどして退く。
⑨ 「胸」に刻む	心にしっかりとどめる。
⑩ 「目」にあまる	程度がひどくて黙って見ていられないほどである。

目 手 胸 腕 足

9 慣用句

プリント6

国語のワーク5・6年生

□ 次の各文のは動物の名前を含む慣用句が使われています。「」にあてはまる言葉を後のから選んで書きましょう。

- ① 店がいそがしいので「**猫**」の手も借りたいほどだ。
- ② 八之助はすっかりお金を使い果たして、ふところには「**すずめ**」の涙ほどの小銭しか残っていないかった。
はちのすけ なみだ こせち

③ 新作の映画はとてもおもしろいということで、その評判は「**うなぎ**」のぼりだった。

④ すべての逃げ道をふさがれてしまい、もう袋の「**ねずみ**」だ。
ふくろ

⑤ 何か月もかけて準備をしてきた計画だったが、社長の「**つる**」の一声で中止になってしまった。

⑥ どの「**馬**」の骨とも分からない男がやってきて、突然「お前の力になろう。」

と言ってきたので、八之助は「**きつね**」につままれたような顔になった。
はちのすけ

- つる
- ねずみ
- 猫
- 馬
- うなぎ
- きつね
- すずめ

9 慣用句

プリント7

国語のワーク5・6年生

次の各文について、――部を言いかえるのにふさわしい慣用句を後の□から選んで「」に書きましよう。

① ヨーロッパで戦争が起きても、自分には関係ないと思っていたが、思ってもみない物価高の影響を受けて、会社の経営が危うくなってきた。

「**あおりを食う**」

② 息子が万引きをして、警察官の父親の面目を失わせることになった。

「**顔にどろをぬる**」

③ 身に着けるだけでお金持ちになれるペンダントなんて、信用できない物にちがいない。

「**まゆつば物**」

④ 朝きちんと起きて、朝ごはんをしっかり食べなさいと母親は何度もくり返して言い聞かせた。

「**口がすっぱくなるほど**」

⑤ 応援していたチームがぼろ負けしたので、とてもがっかりした。

「**肩を落とす**」

⑥ お金持ちの家に生まれて、ずっとのん気に暮らしている。

「**ぬるま湯につかる**」

⑦ 「お前は天才だ」というお父さんの言葉をその通りに受け止めて勉強を続けていたら、本当に一流大学に合格してしまった。

「**真に受ける**」

口がすっぱくなるほど	真に受ける	まゆつば物	肩を落とす
あおりを食う	顔にどろをぬる	ぬるま湯につかる	

9 慣用句

プリント8

国語のワーク5・6年生

次の各文について、――部を言いかえるのにふさわしい慣用句を後の□から選んで「」に書きましよう。

① どうしてもほしいゲームがあったので、ゴマちゃんはずっと大切においてあった一万円を貯金箱から出して使うことにした

「 とらの子 」

② とても美しい女性が駅のホームに立っていたので、思わず見とれてしまった。

「 目をうばわれる 」

③ その有名人に恋人がいるというのは、でたらめなうわさだった。

「 根も葉もない 」

④ 毎日欠かさずに練習を続けて来た努力の成果が現れ、大会で入賞することができた。

「 実を結ぶ 」

⑤ 毎日欠かさずに練習を続けてきたのに、大会で入賞することができず納得がいけない。

「 ふに落ちない 」

⑥ 気がついたら無人島にたった一人取り残されて、どうしてもか分からなくなった。

「 とほうに暮れる 」

⑦ こんなにたくさんにんじょうみの宿題を出すなんて、あの先生はまったく人情味がない。

「 血もなみだもない 」

実を結ぶ ふに落ちない 血もなみだもない とほうに暮れる
 目をうばわれる とらの子 根も葉もない

9 慣用句

プリント9

国語のワーク5・6年生

次の各文は、カタカナを含む慣用句が使われています。あてはまる言葉を後の「**バトン**」に書きましよう。から選ん

① 学級会でのゴマちゃんの発言は、議題からずれたものばかりで「**ピント**」が外れていた。

② 百年続いた旅館だったが、後継あとつぎがないため長い歴史に「**ピリオド**」が打たれた。

③ その学校は、専門家を育成するための「**レール**」がしっかりとしかれていた。

④ しめ切りが間近にせまっていたため、仕事の「**ピッチ**」を上げた。

⑤ 仲間からは「弱虫」の「**レッテル**」をはられていたゴマちゃんだったが、急に現れた怪物かいぶつたちを前に勇かんに戦った。

⑥ シロクマ探偵団たんていだんは、事件解決において調査の「**メス**」を入れることにした。

⑦ 探偵団たんていだんの団長であるシロクマくんは、団長を引退し、新しい団長としてゴマちゃんに「**バトン**」をわたすことにした。

- レール
- ピッチ
- バトン
- ピント
- メス
- レッテル
- ピリオド